様式第３号

事務事業評価表（内部管理事務等）

評価対象年度	平成 28 年度
１次評価日（主幹等）	29 年 3 月 31 日
２次評価日（課長等）	29 年 5 月 31 日

１ 事業名	旧塩病施設管理事業			コード	163306
２ 担当部課	部等	企画政策部	課等	企画課	作成者 宮坂　征憲

３ 事業概要	目的体系	基本目標	総合計画の推進に向けて	
		政　策	総合計画の推進に向けて	施　策：将来を見据えた行政経営の推進
	予算科目	塩嶺施設管理費	業務委託	なし（直営）
	実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
	根拠法令	なし		

●事業の実施内容（DO）

４ 事業の概要等

＊対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）

事業の概要（簡潔に）		厳しい医療環境の中で、安定した医療提供が継続できる病院をめざして、市内２病院（岡谷病院、塩嶺病院）の統合により不要となった建物等の解体を計画的に行うとともに施設管理をおこなう。
目的	対象者	
	意　図	

５ 事業の実施内容

＊28年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容

病院統合により岡谷市民病院へ機能移転した旧健康保険岡谷塩嶺病院施設について、警備会社への委託による巡回及び機械警備により無人となった施設の適正な管理を行うとともに、病院事業と連携し、不要となった建物等の解体を実施した。なお、施設解体は病院事業が実施するため、解体費用は病院会計支出金として繰出している。

【平成28年度解体施設】
栄養棟・霊安解剖棟・病歴管理サービス棟・渡り廊下・ボイラー棟・受変電室・作業棟

前年度の課題への対応	Ｂ棟及びリハビリ棟解体後の跡地活用について、社会福祉法人 平成会との情報交換を実施した。

６ ア）コストの推移

＊この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）　［単位：円］

区　分		26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
① 直接事業費		50,000	824,738	1,881,010	1,812,000
経常経費		0	0	0	0
臨時的経費		50,000	824,738	1,881,010	1,812,000
＊臨時的経費の説明					
② 人件費		5,600,000	4,800,000	1,600,000	1,600,000
正規職員の人数（人）		0.70	0.60	0.20	0.20
③ 合計コスト（①＋②）		5,650,000	5,624,738	3,481,010	3,412,000
前年度比			99.6%	61.9%	98.0%
財源内訳	一般財源	5,650,000	5,624,738	3,481,010	3,412,000
	特定財源	0	0	0	0
＊特定財源の説明					
④ コストに関する補足説明		なし			

イ）負担金、補助金、交付金の状況

［単位：件、円、%］

負担金補助金		26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
なし	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア）の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	0	0	0	0
	割合	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

●改善の内容（ACTION）

7　具体的な課題と改善

課題	（事務を正確に実施し、少ない費用で効率的に事業を行う上で、現在課題になっていること） ・平成28年度解体工事において施工箇所（霊安解剖棟解体現場）の地中から発見された医療系廃棄物の処分に伴う、「公立病院再編・ネットワーク化計画」に基づく計画的な施設解体の見直し。 ・Ｂ棟及びリハビリ棟解体後の跡地活用（平成会との交渉）。 ・旧診療管理棟を除く不要な施設を全て解体した後の跡地利用。
改善方法	（上記の課題をふまえて29年度以降に実施する、具体的な改善の内容） ・平成28年度解体工事において施工箇所（霊安解剖棟解体現場）の地中から発見された医療系廃棄物の処分を優先して行う。 ・残存施設（Ｂ棟、リハビリ棟、Ａ棟、検査棟、看護師宿舎、健診車車庫等）は、医療系廃棄物処理を含めた解体計画を新たに立案し、公営企業施設等整理債の活用により、引き続き計画的に実施する。
改善開始時期	平成29年６月

●次年度の計画（PLAN）

8　次年度の方針	継続して実施	9　施策評価による29年度の優先度 *H27年度施策評価表より転記すること	